

議 平生町  
**議会だより**

第 112 号  
 2009年 7月24日

発行：平生町議会  
 〒742-1195  
 山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1  
 TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109  
 発行責任者：福田 洋明  
 編集：議会広報広聴調査特別委員会



プール最高!! (平生小学校1年生)

6 月 議会報告 いっぱん質問	臨時会.....	2ページ
	定例会.....	3ページ
	いっぱい質問.....	4ページ



副議長 河内山 宏充



議長 福田 洋明

経済危機による景気の悪化が著しい中、地方自治体を取り巻く状況は、日増しに厳しくなっていく一方です。議会が果さなければならぬ役割はますます重要になっていきます。急速に進展する少子高齢化、地球温暖化など各種の行政課題への対応が不可欠であります。誰もが安全で安心のまちづくりを目指し、諸課題の解決に向けて全力を傾注していきます。公正で円滑な議会運営をみなさんと力を合せて進めてまいります。

就任の挨拶

平成21年第3回平生町議会臨時会が5月29日に開かれました。正副議長の辞職に伴う選挙が行われ、議長には福田洋明議員、副議長には河内山宏充議員が選出されました。また、各常任委員会の正副委員長および委員の選任、さらに一部事務組合議会の議員の選出も行われました。

5月臨時会  
新体制が  
スタート

議会運営委員会



副委員長 吉國 茂  
委員長 藤村 政嗣  
委員 柳井 靖雄  
委員 平岡 正一  
委員 細田留美子

産業文教委員会



副委員長 福田 洋明  
委員長 河藤 泰明  
委員 柳井 靖雄  
委員 平岡 正一  
委員 田中 稔  
委員 淵上 正博

総務厚生委員会



副委員長 細田留美子  
委員長 岩本ひろ子  
委員 大井 哲也  
委員 吉國 茂  
委員 河内山宏充  
委員 藤村 政嗣

# 6月定例会

## 監査委員の選任、人権擁護委員の推薦に同意

平成21年第4回平生町議会定例会が、6月18日から25日までの8日間の日程で開かれました。提出された議案は、条例1件、同意1件、諮問1件の計3件でした。議案は全て全会一致で原案どおり可決されました。一般質問には、5人の議員が町政の課題を質問しました。

### 【人権擁護委員】



中尾 一眞氏

本年9月末をもって、任期満了となる人権擁護委員の諮問に関し、中尾一眞氏（佐賀）を再び推薦することに全会一致で同意しました。

### 【監査委員】



平岡 正一氏

議会選出の平生町監査委員に平岡正一氏を選出しました。前任の監査委員の辞職に伴うもので、任期は、一年間です。

新年度がスタートとして四半期過ぎの6月定例会は、ここ数年補正予算案関連の議案の提出はありません。町長は、冒頭の行政報告の前段で、国の補正予算に対し近々に取り組む姿勢を表明しました。

### 一部事務組合議会構成・監査委員・農業委員会委員

一部事務組合	田布施・平生水道企業団	瀧上 正博 田中 稔 河藤 泰明
	熊南総合事務組合	河内山宏充 大井 哲也 河藤 泰明
	周東環境衛生組合	福田 洋明 細田留美子
	柳井地区広域消防組合	藤村 政嗣
	柳井地域広域水道企業団	柳井 靖雄
監 査 委 員		平岡 正一
農 業 委 員 会 委 員		吉國 茂 岩本ひろ子





淵上正博 議員

# いっぱい こが聞きたい 質問



建設が進められている上関原発

経済産業省と環境省の「温室効果ガス排出算定公表制度」で、国内の原子力発電所や核燃料製造施設から、年間82万トンの温室効果ガスが出ていることが初めて分かった。政府、財界は「原発は世界に貢献、CO<sub>2</sub>ゼロ」と宣伝し、上関原発を含め原発を増設しようとしている。国民を偽り原発を増設するエネルギー政策をどのように考えるか。

質問

**質** 上関原発建設で国のエネルギー政策への考えは  
**答** 動向は十分踏まえて、対応していく

世界全体の流れの中で、日本が温室効果ガスの排出量の削減に向けて、具体的な国内対策が改めて示されてくると思っている。原子力発電所を含めた国のエネルギー対策についても安全性の確認を図って、事業を展開をしていこうと今、取り組みが行なわれている。安全性をしっかりと確認をし連携をとりながら進んでいくのが本町の立場だと思つ。

答弁 町長

**質** 臨時交付金で町内の活性化計画は

**答** 町内事業者が受注できる事業を編成

この事業を進めるにあたり、今の不景気のなか、地元中小・零細業者に幅広く効果が及ぶよう、町内の活性化を図るべきだが、どのような計画をたてているか。

質問

また、地域活性化・経済危機対策臨時交付金は、学校の耐震化に振り当てて、できるだけ地域の実情に応じた、きめ細かな事業を積極的に実施することになっている。できるだけ町内事業者が受注できる事業をしっかりと編成をしていく。

答弁 町長



建替の決まった平生小学校の教室棟



平岡正一 議員

**質** 合併、電源交付金への  
取り組みは

**答** より大きな基礎自治体を追求  
する。交付金は広く活用したい

**質問** 市町村合併は一段落し、新しい時代に入るが、市と合併した町村地域では多くの不満が出されている。今回の経験を生かして、新しい地方分権に対応できる合併を目指すべきだと思いませんか。

上関町のまちづくりの選択の結果として、原子力発電所の建設が進められている。安全の確保を求めることは当然であるが、電源交付金の活用計画

も必要になっていく。町長の考えと対応を聞く。

答弁 町長

国の主導する合併は来年三月で一応区切りをつける答申がなされた。しかし将来に向け、この地域の実情を踏まえた自主的な合併やより大きな基礎自治体を追求する方向で臨みたい。

電源三法交付金については未定部分が多い。具体的な状況が動く段階で事務的な整備もする。この交付金は適用範囲も広く活用したい。



**質** 町立保育園民営化への  
取り組みは

**答** あり方を検討したい



あり方が検討される保育園（宇佐木保育園）

**質問** 町立保育園を民営化する方針を進めてきたが、大野、曾根保育園を民営化して以後進んでいない。

この間、保育士などの退職後、補充採用をしないで、パートで対応している。

その結果、町立保育園でのパートの比率が60%近くになっていて、責任ある体制が問題がある。

また、職員とパートの方々の賃金等の格差が目にあまる状況にある、どのように解決されるのか。

質問

答弁 町長

保育園の運営費が一般財源化され、経営的には苦しい状況である。

保育園の今後のあり方については来年度あたりには方向を出したい。

職員とパートの賃金格差については、解消しないとけない。

財源面からも業務面からも、実態をよく勉強してできるだけ解消していく。

本件は保育園のあり方検討と同時に研究したい。



細田留美子 議員



ますます元気！ カラオケ発表会

**質** 高齢者が安心して暮らせる町を

**答** 理念は「生涯現役のまちづくり」

質問

高齢者福祉計画の今回の特徴は何か。介護療養施設サービスが平成23年度に廃止されるが社会的入院者の行き先の確保はどうか。

答弁 町長

高齢者福祉計画の特徴として「生涯現役のまちづくり」を基本理念として、介護予防、暮らしやすさ、安心介護の三つを基本目標としている。

光輝病院については今後とも継続してサービスが提供できるように町として努力している。

地域包括支援センターの公正・中立性の確保は運営協議会によってチェックしている。評価基準は作っていない。

**質** 家庭基盤の充実支援を望む

**答** 地域との連帯強化の支援を行う

質問

内閣府は平成19年度に「家族・地域のきずなを再生する国民運動」を決定している。県も毎月第3日曜を「家庭の日」と定めているが町はどうしているか。家族の社会的機能は生活リスクから家族を守ることで、次世代を育成することだ。これは役場の仕事にもつながる。家庭基盤の充実支援について町長の所見を問う。

答弁 町長

平生町の場合、家庭と社会とのきずなを深めるための特別な設定はしていないが、いろいろな子ども会活動、スポーツ活動、公民館活動など、家族ぐるみで参加できるような機会を作っている。

核家族化が進む中でこうした機会を利用して家族間のコミュニケーション、そして地域との連帯を深めることにより、家庭基盤の充実強化の支援を行っている。



イモの植え方を習う子供たち (大野公民館)





岩本ひろ子 議員

**質問** この不況の中、商店、企業は恒常的に不振であり、苦しんでいることは全国共通の問題であるがなんとか打開したいと暗中模索している。町でも講習会とか研修会を開くなどの配慮が必要と思われるが、町長の考えと町の取り組みを問う。

2点目に、町の取り組みによっては、若者の働く場の確保ができ、定住にもつながり町の活性化になる。町の未来を考え、希望の持てる働く場を作る取り組みは。

**質問**



たくさんの人でにぎわう  
特産品センター

**質** 中小企業振興対策は  
**答** 借り入れ支援を行う

**答弁** 町長

中小企業の振興対策として、中小企業の相談、セミナー、講習会は、商工会を中心に取り組まれている。町としては、この取り組みをバックアップしている。

また、大変経済が厳しい中で、特定の中小企業者に認定をして、金融機関などから借り入れが容易になるよう支援を行っている。

若者の雇用については、引き続き企業誘致の取り組みをしていく。



田中 稔 議員



曾根地区自主防災組織の合同防災訓練

**質**

平生町監査委員の  
決算意見書への対応は

**答**

安全、安心できる  
まちづくりが最重点課題

**質問**

18年度の監査委員の決算意見書では、「精査選択によるメリハリある行政運営をされた」とある。

町の歳入増対策も含め、歳出では学校耐震化等諸課題が多く歳出圧力は高い。どう優先順位をつけて町政運営をするか。

19年度では「中・長期の将来計画を立て、町の自律的な政策立案機能の構築をされた」とある。将来的に経済活性化等、安定的な財源確保を図る必要がある。町長の見解を聞きたい。

**答弁** 町長

18年度は歳入確保の検討チームをスタートした。19年度は行政の定員管理の適正化及び新たな給与制度の確立、財政の健全化対策、行財政計画を進めた。

防災を含めて安全、安心できるまちづくりを最重点課題として取り組んでいく。具体的な将来の展望等については、また改めて議論をしていく。

# 議会広報広聴調査特別委員会

よろしくお願ひします



私たち6人が今回からの「議会だより」を担当します。  
 気軽に手に取ってもらい、読んでもらえる広報づくりをめざして頑張ります。  
 投稿コーナーなど、みなさんのご意見をお待ちしています。

大井 哲也  
 田中 稔  
 副委員長 河内山宏充  
 委員長 河藤 泰明  
 渕上 正博  
 岩本ひろ子

## 議会の動き

(H21・3/9～H21・6/17)

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 3月9日～18日<br>第2回定例会     | 4月9日<br>議会広報広聴調査特別委員会  |
| 3月9日<br>議会広報広聴調査特別委員会  | 4月15日<br>議会広報広聴調査特別委員会 |
| 3月18日<br>議会運営委員会       | 5月21日<br>議会運営委員会       |
| 3月19日<br>町環境審議会        | 5月27日<br>総務厚生常任委員会     |
| 3月26日<br>議会広報広聴調査特別委員会 | 5月28日<br>産業文教常任委員会     |
| 6月8日<br>議会全員協議会        | 5月29日<br>第3回臨時会        |
|                        | 6月4日<br>議会運営委員会        |
|                        | 6月4日<br>議会広報広聴調査特別委員会  |

## ◆原稿募集◆

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

- ・ 字数 400字以内
  - ・ 締切日 平成21年9月30日
  - ・ 提出先 平生町役場議会事務局 議会広報担当者
- 紙面の都合で一部変更することもあります。ご了承願ひします。  
 掲載文には薄謝を差しあげます。

## 編集後記

### 夏本番!



我が家の息子と夏野菜は元気がいい。  
 土作りは肥料を撒き散らし、種まきでは口に入れ、朝の水やりはゾウさんのジョウロで鉢より自分の靴の方が水浸し。収穫は、ひとつ採るたびに「かわいい」と言いながら笑顔で頬ずり。  
 でも、この無駄こそが、子供にとって成長の大切な「肥やし」になるんですよね？  
 無駄遣いはいけません、  
 「議会だより」も、そんな無駄を「肥やし」にして、親しみやすい誌面作りを目指していきます。

河藤 泰明